

比治山大学短期大学部

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

比治山大学短期大学部では、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間の育成という建学の精神を礎に、日々個性を磨き、広い教養と専門性に裏打ちされた、しなやかで豊かな人間性を高められるよう精進できる力を身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

- 1 「4×3の比治山力 (汎用的能力)」を身に付け、自己実現を目指して生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生をデザインする力を身に付けている。
- 2 専門分野における確かな知識・技能及び実践力を身に付けている。
- 3 専門性を磨き、職業人としての自覚を深め、問題解決に向けて努力する態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)

【編成方針】

比治山大学短期大学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、実務教育を軸として必要とする授業科目を開設し、組織的・体系的で効果的なカリキュラムを編成しています。

- 1 主体的・能動的な学びを促し、「4×3の比治山力 (汎用的能力)」を育成するため教養・基盤的教育と専門教育のバランスを考慮したカリキュラムを編成しています。
- 2 専門職業人に求められる知識・技能を習得させるために必要なカリキュラムを編成しています。
- 3 学生個々人の個性や特長を伸ばすとともに専門的な知識・技能を活かして社会に貢献しようとする意欲と態度を育成するカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

各学科及び共通教育に対応した講義・演習・実験・実習・実技において、遠隔授業等を含む様々な様態で授業を行うことにより、ディプロマ・ポリシーの達成をめざすとともに、学生の主体的・能動的な学びを促進します。また、各授業科目の成績の評価については、到達目標に対する達成状況を、あらかじめ明示された公正な成績評価基準に照らして実施します。

<教育方法>

- 1 汎用的能力(4×3の比治山力)の育成
建学の精神を象徴する4つのキーコンピテンシー(自立・想像・共生・創造)と12の学修スキルを統合した独自の汎用的能力「4×3の比治山力」を各授業でのアクティブ・ラーニングの実践によって育成します。
- 2 学修成果の可視化
学生が各自の学びの状況を把握するなかで「自ら学ぶ」スタイルを身に付けることを目的として、本学の学生情報システム「Hi!way」により学修活動のPDCAサイクルを確立し、学修成果の可視化を進めます。
- 3 シラバスの明示
授業は、授業概要、関連するディプロマ・ポリシー、到達目標、授業計画、準備学習(予習・復習)、評価の方法等について具体的に記載したシラバスに沿って実施します。また、各科目のシラバスは、学生情報システム「Hi!way」で確認することができます。
- 4 CAP制度
学生が各年次にわたって適切で無理のない計画的な履修を行うことができるように、履修登録できる単位数を制限するキャップ(CAP)制度を設けています。
- 5 チューター制度

令和 5（2023）年度入学生対象三つの方針

学生一人ひとりにチューター(指導教員)を割り当てています。チューターは学生の学修を含めた学生生活全般について適切な助言を行います。

6 授業改善

「学生による授業に関するアンケート調査」や学生モニターからの意見聴取等によって、常に授業改善に努めます。

〈学修成果の評価〉

1 成績評価

授業科目の担当教員が、あらかじめシラバスに定めた評価の方法によって、成績評価(五段階評価)を公正に行います。

2 成績評価の数値化

GPA(Grade Point Average)制度により成績評価を数値化することで、学修成果の可視化や授業料減免対象者の選考等に活用します。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

比治山大学短期大学部では、本学のカリキュラム・ポリシーに沿ってディプロマ・ポリシーに定めた人材の育成を行う上で、次のような人を求めます。

- 1 「汎用的な能力（4×3の比治山力）」を身に付け、伸ばそうとする人
- 2 短期大学部における専門的な知識・技能を修得するための基礎的学力を有している人
- 3 地域社会における課題や問題を発見しようとする意欲を有している人

幼児教育科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

- 1 子どもの最善の利益を尊重し、保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている。
- 2 子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている。
- 3 保育者としての専門性を深め、生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

【編成方針】

- 1 多様な視点から、子どもや保育の問題に対応できる汎用的能力を高めるために全学共通及び学科の教養・基盤教育に基づいたカリキュラムを編成しています。
- 2 保育に関する基礎的及び専門的な知識と技能を身に付けるため「本質・目的の理解」、「対象の理解」、「内容・方法の理解」、実習や卒業研究を含む「保育の実践と研究」からなるカリキュラムを編成しています。
- 3 生活に即した保育を構想するなかで専門性と実践力を深め、保育者として社会に貢献しようとする意欲と態度を身に付けるため自らの学びの目標とその達成評価ができるカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

- 1 生活に即し多様な保育現場で活躍するための能力を培うための共通教育科目及び専門教育科目を設定しています。これらの科目群では、アクティブ・ラーニングをとおして積極性を養います。また、短期大学部付属幼稚園との連携による実践指導等を含み、多様な保育現場で活躍するための思考力・判断力・表現力を培います。
- 2 保育に関する基礎的知識及び専門的知識と技能を身に付けるため、「保育の本質・目的の理解」「保育の対象の理解」「保育の内容・方法の理解」に関する科目群を設定します。これらの科目群では、実務経験を有する教員も担当し、即戦力として活躍できる力を養います。
- 3 本学科での学びを卒業後も生かし、保育現場で主体的に行動できる保育者となるために、子どもや保育の問題について多様な視点から教育活動を展開します。また、地域におけるフィールドワーク、施設見学、グループでの演習等によって、協働しつつ学習する態度を身に付けます。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

幼児教育科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿った人材を育成するため、保育を学ぶ意欲を持ち、保育者を強く志し、本学科で学ぶことに魅力を感じる人を求めています。

- 1 自分の様々な能力を保育につなげようとする人
- 2 高等学校までの学習内容を幅広く理解し、特に、聴く、話す、読む、書くなどの国語力を身に付けており、音楽、美術、体育などに関心をもつ人
- 3 地域社会でのボランティア活動や課外活動、学校行事に積極的に取り組んでいる人

総合生活デザイン学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

- 1 よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信力を持ち、自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている。
- 2 生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている。
- 3 職業人としての自覚を深め、継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

【編成方針】

- 1 自己肯定感に支えられた高い傾聴・受信力を持ち、豊かな人間性と多面的な見識を養うために、全学共通科目と教養科目を基盤として、生活を総合的にデザインする共通専門教育を展開するカリキュラムを編成しています。
- 2 社会で活躍できる職業人として必要な専門的知識・技能を身に付けるため専門教育科目では 5 系列を設定し、それぞれの系列に応じた実務教育を主軸にしたカリキュラムを編成しています。
- 3 さまざまな検定や資格の取得を通して職業人としての力量を高め、絶えず向上していくキャリア意識を深化させるなかで社会に貢献できる態度と意欲を培うカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

- 1 多様なアクティブ・ラーニングの手法を採り入れて、自己肯定感に支えられた高い傾聴・受信力を持ち、豊かな人間性と多面的な見識を養います。また、各種の検定や資格取得や社会で活躍できる職業人をめざすために必要な汎用的能力を養うための教育活動を展開します。
- 2 生活を総合的にデザインする視点を構築するため、上級秘書、観光ビジネス、ファッション・ブライダル、フード、ハウス・インテリアの系列の専門分野の科目を設定します。これらの科目群は、実務経験を有する教員により、社会人として活躍できる基盤として秘書の学びを展開します。
- 3 社会参画の生活達人チャレンジプログラムや検定試験の学修をとおして、主体性及び協働性を持った職業人の育成を図り、絶えず向上していくキャリア意識や社会人基礎力を培います。また、中学校教諭二種免許状（家庭）取得希望者のために、本学教職指導センターとの密な連携によってきめ細かい指導を行います。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

総合生活デザイン学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿って、自己肯定感に支えられた高い傾聴力、受信力を持ち、社会で活躍できる職業人を育成するため、次のような人を求めています。

- 1 生活に関わる分野において、論理的思考力や表現力を身に付け、積極的に生活をデザインしようとする人
- 2 生活を創造するための専門的知識と技能を修得するため、高等学校までの基礎的学力を有している人
- 3 将来、職業人として主体性を持ち、地域社会、教育界など現代社会に対して協働していこうという目的意識を持ち、またさまざまな検定や資格取得に挑戦し、絶えず向上しようとする人

美術科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

- 1 芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力および社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている。
- 2 美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付け、それらを用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を保つ中で専門性を磨き、表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

【編成方針】

- 1 表現者・職業人として自らの人生をデザインし、豊かな人間性と多角的視点から問題を探求する力及び幅広い見識を養うために、共通教育科目と美術科の基礎演習科目を中心としたカリキュラムを編成しています。
- 2 美術に関する基礎的な知識の理解や技法を習得するための理論系科目、CG系科目及び表現者・職業人として必要な力量を高め、実践的な応用力を養うためのコース専門科目からなるカリキュラムを編成しています。
- 3 美術における確かな表現力で作品を発表し、自らの力量を高めるとともに地域社会や教育界に貢献できる意欲と態度を培うカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

- 1 1年次は基礎的な造形力を身に付け、美術の土台をしっかりと造るための共通教育科目・専門教育科目を設定します。これらの科目群では、多様なアクティブ・ラーニングの手法を採り入れた指導を行います。
- 2 2年次は成長～発展期と捉え、自分なりの考え方を確立し卒業制作に繋げるために、各領域（コース）の専門的な制作技法を身に付ける指導を行います。
- 3 美術の各領域の学修を活かして社会人として円滑にスタートできるように、個性を活かし、実技・実習を重視した指導を行います。そして、卒業展などによる作品発表をとおして、広く社会から指導を仰ぎます。また、中学校教諭二種免許状（美術）取得希望者のために、本学教職指導センターとの密な連携によってきめ細かい指導を行います。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

美術科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿った人材育成をするため、美術が好きで、美術を学ぶことに魅力を感じる人を求めています。

- 1 自由な創造力と豊かな表現力を求めようとする人
- 2 本学科で学ぶために必要な高等学校までの基礎的学力を有している人
- 3 本学科の教育を受けることによって自らを表現者・職業人として最大限成長させようとする人

専攻科美術専攻

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

専攻科美術専攻では、美術への明確な目標を持ち、主体的に創造活動を展開できる者を求めます。